

動物生産管理学特論 (2単位)

担当者氏名 相馬 幸作、平山 博樹

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

近年の動物生産現場では既存の家畜のみならず、新規動物資源の有効利用が盛んになっており、既存の畜産業の枠組みを広げる必要がある。また、環境保全や生命倫理の観点からも、生産効率や経済優先の考え方を見直す時代に来ている。本講では動物資源の生産に関わる研究を取り上げながら、動物資源活用のための生産技術について学ぶ。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

動物資源学 世界の家畜 動物生産 生物生産
飼料資源

◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	動物資源生産の必要性 (第1週、平山)	動物生産の必要性と社会的倫理について講述する。	事前に参考資料などで予習をしておくこと。また、配付資料はファイリングし、
2	動物資源の特徴 (第2～4週、平山)	反芻動物、単胃動物、鳥類にわけ、生理学的特徴について比較する。	講義の復習を行うこと。
3	動物資源の確保 (第5～6週、平山)	後継子畜の生産における種畜の選抜と検定、繁殖技術について講述する。	主な畜種の統計資料について確認しておくこと。
4	家畜の行動と管理(第7～9週、相馬)	家畜の行動特性に基づく管理方法と生産技術へ応用について講述する。	
5	自給飼料生産と糞尿処理 (第10～12週、相馬)	栄養生理学的特徴を踏まえた飼料給与戦略、自給飼料生産、糞尿の利活用について講述する。	
6	新規動物資源の活用 (第13～15週、相馬)	エミューやエゾシカの活用とニュージーランドを中心とする鹿産業の実態について講述する。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

講義ごとに関連資料を配布する

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

乳牛管理の基礎と応用/柏村文郎・古村圭子・増子孝義編著/デーリィ・ジャパン (2012)

乳牛栄養学の基礎と応用/増子孝義・花田正明・中辻浩喜編著/デーリィ・ジャパン社 (2010)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポートにより評価を行う。

◆オフィスアワー

講義後または毎週火曜日の午後に、研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

ディスカッションをする場合があるため、事前の資料確認を怠らないこと。